

足利高新校舎について下野新聞に掲載されました。
電子版では動画もご覧いただけます。

電子版： <https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/857272>

2024年（令和6年）2月16日（金曜日） 下 野



足利高新校舎着々と利用予定

今年秋の利用開始を予定 楽町（新校舎の建設）工事が、
している足利高（足利市有 着々と進んでいる。15日時

旧足利女子高、旧市民会館の両跡地で建設が進む足利高新校舎＝
15日午前7時35分、足利市有楽町で
ドローンから、永島理絵撮影

動画は電子版・SOONで

点での進捗率は7割ほど。
南側と西側の足場が前日ま
でに取り払われ、全体の輪
郭がくっきり浮かび上がっ
ている。

旧足利高と旧足利女子高
は統合共学化され2022
年度、新しい足利高が開校
した。現在は旧足利高の敷
地と校舎を使っている。

新校舎の整備地は、隣接
する旧足利女子高、旧市民
会館の両跡地で敷地面積は
約4万平方メートル。吹き抜けの
ある3階建ての校舎（88
42平方メートル）や体育館など
を整備する。工事は22年9
月に起工し、24年夏ごろの
完成を目指している。建築
工事費は約58億円。

現在、校舎は躯体工事が
終わり、内装と外装の工事

が進んでいる。一日平均で
120人程度が工事に従事
しているという。県教委教
育政策課は「建築工事が進
み、道路からも校舎が見え
るようになった。完成まで
もう少ししばらくお待ちいた
きたい」としている。

（沼尾 歩）